

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年8月26日(金) NO14 文責 木下 文秋

## 夏休みに寄せられた苦情に思うこと

コロナ禍の夏休みが終了しました。特に制限のかからない夏休みでしたが、どのように過ごしましたか。大きな行事が続く2学期が始まりましたが、のっけから残念なお話です。この夏季休業中に2つの苦情が寄せられました。一つは電話、もう一つは封書によるものです。この二つの苦情はいずれも、中学生のモラル（道德意識）に関することでした。一つは、本校の数名の生徒が部活動帰りに、不要物（恐らくガムや菓子の袋）を公道に投げ捨てたという苦情でした。この苦情を寄せられた方は、これまでも中学生がゴミを投棄する場面に出くわされていて、自分の敷地にゴミが投げ入れられることを危惧し、自宅に防犯カメラを付けたとのことでした。もう一つは、某公園の近所にお住いの方から、同様に中学生がゴミを投棄していることに対する苦情の封書です。この封書の中には、投棄されたゴミが入っていました。どちらの案件も、町民の方に申し訳なく思いますし、町内の中学生を預かる者として責任を痛感しています。それと同時に「ゴミの正しい処理」ができないこと。つまり、道徳性が欠如していることへの情けなさもあり非常におなしい思いをしています。人を傷つけたり、公共物を壊したりすることはもちろん「悪」ですが、「平気で公道や公園にゴミを捨てる」という「質の低さと幼稚さ」をととても残念に思うのです。三股中学校に来て5か月が経ちます。生徒の皆さんは、私が授業の様子を見て回る姿に何度も気づいたと思いますが、想像以上に落ち着いているし、掃除の様子を見てもよくやっていると感じています。そんな生徒ばかりなのに、こんなに次元の低い愚行（<sup>ぐこう</sup>考えの足りない行為）があると知らされて本当に残念です。皆さんはどう感じるのでしょうか。市内には20の中学校がありますが、三股町には1つの中学校しかありません。町民から信頼され、愛され、大事にされる中学校でなければならないと考えています。皆さんのご両親も本校の卒業生の方が多いはずですが、自分の母校で学ぶ後輩が、そんな低次元のことをしては、先輩として残念に思われるはずで、是非、今回のことを自分のこととして受け止めて、同じことが繰り返されないようにしてほしいと願います。集団心理は時として間違いを起こします。「それはいかんよ！」と言える良好な友達関係を構築できれば、生徒の質も学校の質ももっと良くなると思っています。